

パナソニック生活家電のプロモーションに スクリーンのインクジェットプリンターが活躍 ～「NIGHT COLOR シリーズ」の交通広告に採用～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー(社長：藤澤 恭平)はこのたび、パナソニック株式会社(本社：大阪府門真市)が2月1日から展開している家電製品のプロモーション「『NIGHT COLORシリーズ』夜の渋谷ジャック」キャンペーン^{※1}に、当社インクジェットプリンターで協力。多様なメディアを組み合わせた同社のプロモーションにおいて、JR渋谷駅構内などに掲出される臨場感あふれるB0サイズポスターを、当社製ワイドフォーマットUVインクジェットプリントシステム「Truepress Jet2500UV」により出力しました。

今回のように多様なメディアを融合した大規模なプロモーションでは、それぞれのコンテンツを制作する印刷システムの違いによる発色の差異などから、色の統一感を得ることが非常に困難となっていました。また従来、紙メディアに対する大サイズポスターの出力には水性インクジェットプリンターが利用されてきましたが、印刷できる用紙がプリンター専用紙などに限られることから、デザイナーの表現意図が制限されるなど、デザイン面においても課題となっていました。

今回使用した当社の「Truepress Jet2500UV」は、ロールタイプとシートタイプの両方のメディア(基材)に対応すると同時に、用紙に浸透しないというUV硬化インキの特性を生かし、印刷業界で広く使用されているさまざまな用紙のほか、アクリル、PET、金属など多様なメディアへの印刷が可能です。加えて、超微細でオフセットに比べてガモット(色再現域)の広いインクを採用し、白色インキの装備も可能。今回のような大規模なキャンペーンでの異なるメディア同士の色合わせにおいても、より精度の高い統一感が得られ、広告手法のバリエーションの拡大に寄与します。このように、従来の課題を解決するとともに、高い印刷品質、優れた再現性と耐候性などの特長を持った同装置が評価され、今回、多様なメディアを活用し色にもこだわったパナソニック社のプロモーションにおいて、キャンペーン用大サイズポスターの出力機として採用されました。

当社は今回のプロモーションへの協力を機に、今後もデザイン業界からの期待に応えるとともに、広告コンテンツの品質のレベルアップを追求し、多様化が進む広告宣伝業界に貢献していきます。

※1 「『NIGHT COLORシリーズ』夜の渋谷ジャック」キャンペーン

30歳前後のシングル世帯をターゲットにした家電シリーズ「NIGHT COLORシリーズ」を、渋谷駅周辺で集中的にクロスメディア展開。JR渋谷駅の構内や連絡通路、駅前の大型ビジョン、百貨店のシャッターなど、多様なメディアを活用したプロモーションが、期間限定で大規模に行われる。このほか、人気カフェでのオリジナルメニューの提供、ツイッター^{※2}と連動したショーウィンドーでの動画放映や映像バスの周回、深夜バスの運行なども展開される。

※2 ツイッター (Twitter)

個々のユーザーが140文字以内の「ツイート(「つぶやき」)」を投稿することで、世界中の人とつながることができるコミュニケーションサイト。2006年にObvious社(現Twitter社)がサービスを開始した。

■ パナソニック株式会社 アプライアンス・ウェルネスマーケティング本部 鈴木 拓也氏のコメント

「今回のように少量掲出でバリエーションが多いポスターを制作する場合、オフセット印刷ではコストがかさむため、従来は水性インクジェットプリンターで出力していました。しかも専用紙を使用するため、用紙の選択肢が限られていました。今回、「Truepress Jet2500UV」を採用し、用紙の選択肢が広がったことは、広告表現上の大きなメリットだと考えます。

また、大規模なプロモーションでは、さまざまメディアを組み合わせますが、それぞれに特性があり、インキの色も異なるため、最終的なアウトプットの色味に違いが出てしまう、媒体ごとに製版や色校正を行う必要があるなど、多くの課題がありました。1台の出力機で多様なメディアに印刷できることは、連動感を演出する上で重要になります。

表現の幅を重視し、色の再現性にもこだわった場合、「Truepress Jet2500UV」での出力は最適な表現方法だと思います。同装置の出力品質に正直驚いており、UVプリンターのイメージが変わりました」

■ 株式会社 博報堂 クリエイティブセンター アートディレクター 遠藤 礼奈氏のコメント

「最新のUVインクジェットプリンターによる仕上がりを、とても楽しみにしていました。そして、解像度がとても高いこと、インクの発色が良いことに感動しました。また、多様なメディアを駆使する大規模なプロモーションにおいては、用紙や基材(媒体)選択の自由度により出力機を統一できることは、デザイン面でも、作業効率の面でも、とても重要な要素であり、計り知れないメリットになると思います。発注先を一元化できると、広告代理店にとっては本当に作業効率がアップします。

VOCフリーの「Truepress Jet2500UV」は、思い描いたイメージを再現できる高性能な機械でありながら環境に優しいため、デザインに携わる者として目指す「捨てられないようなデザインにする」ことを通して、環境にも貢献できるのではないのでしょうか。

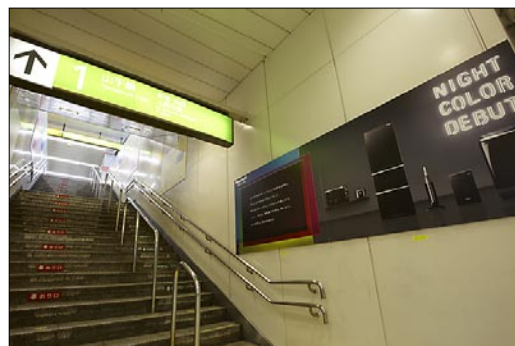
今後のプロモーションでも、ぜひ「Truepress Jet2500UV」を利用したいと思っています」

■ 株式会社 中野直樹広告事務所 アートディレクター 藤原 準氏のコメント

「用紙が選べることで、色域の広さ、イメージとぶれない高再現性などから、今回「Truepress Jet2500UV」を採用しました。特に、用紙選びが可能な点は、相当なメリットだと思います。今までは、おおむね「印刷」でしか表現できなかったものに対し、今後は「出力」という選択肢が増えたと思います。

以前使用したことのあるUVインクジェットプリンターの出力では、特有の走査線が目につきましたが、今回の出力結果は、超速乾のUV方式でインキを盛ることができるためか、高品質、高画質で、非常にきれいな仕上がりに驚きました。

今後も、機会があればいろいろな場面でぜひ活用したいと思っています」



ポスター施行後の風景



Truepress Jet2500UV

☆ これらの画像の印刷用データ (解像度300dpi) は、下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)